

## 2014年度跡見学園女子大学附属心理教育相談所活動報告

## 1. 2014年度 年間活動報告

### 所員の構成

平成26年度の相談所の所員構成は、相談所相談員・補助相談員（臨床系教員）10名、事務担当者1名、インテーク面接担当者6名であった。

### 平成26年度相談員・補助相談員と開所日

平成26年度相談所開所日と相談員・補助相談員は以下のごとくであった。

平成26年4月2日（火）から平成26年8月2日（土）および平成26年8月18日（月）から平成27年3月31日（火）までは週6日開所とした。平成26年12月29日（月）から平成27年1月8日（木）の冬季休業中は閉所とした。

また、文京分室ATOMIさくらルームにおいては、上記開所日のうち、木曜日・土曜日を閉所とした。

相談員	野島 一彦（臨床心理学科・教授）
	中野 敬子（臨床心理学科・教授）
	松崎くみ子（臨床心理学科・教授）
	宮岡 佳子（臨床心理学科・教授）
	山口 豊一（臨床心理学科・教授）
補助相談員	伊澤 成男（臨床心理学科・教授）
	藤澤 伸介（臨床心理学科・教授）
	阿部 洋子（臨床心理学科・准教授）
	酒井 佳永（臨床心理学科・准教授）
	宮崎 圭子（臨床心理学科・准教授）

### 相談所周知のための広報活動

本相談所のパンフレットを、他大学相談所等（88カ所）、臨床心理学科カウンセリング実習実習校（24校）、近隣小・中・高等学校（38カ所）、近隣の保育園・幼稚園・放課後児童保育室（53ヶ所）、教育委員会・教育相談センター等（8カ所）、埼玉県内の病院・クリニック（3カ所）、保健センター・児童相談所・子育て支援センター等（17カ所）、その他民間相談室等（7ヶ所）に送付し、あわせて本学公開講座受講者、本相談所無料講習会受講者にも配布した。（下記表1参照）

大学相談所、教育委員会、病院・クリニック、保健センター・児童相談所、子ども相談室・子育て支援センター等にはポスターも送付した。

また、新座駅・志木駅構内掲示板へのポスター掲示および東京新聞ショッパー（川越版）への広告掲載も行なった。

表1 パンフレット送付先 (2014年6月～9月発送)

分類	箇所	分類	箇所
カウンセリング実習実習校	24	他大学相談所等	88
近隣小・中・高等学校	38	病院・クリニック等	3
近隣保育園・幼稚園・放課後児童保育室	53	不登校生の親の会等、民間相談室	7
保健センター、児童相談所、子育て支援センター等	17	公開講座、講習会	2
教育委員会、教育相談センター等	8		
合計		240ヵ所、計2110部配布	

【26年度来談経路内訳】

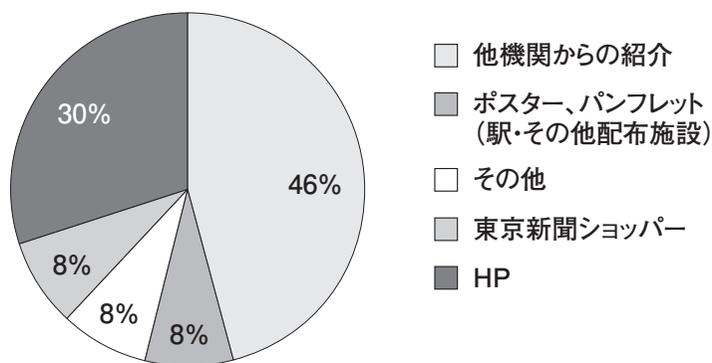


図1 26年度来談者経路

# 【相談所パンフレット】



## 跡見学園女子大学 心理教育相談所



### ■新座キャンパス 心理教育相談所

〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6 TEL:048-478-2177

### ■文京分室 ATOMI さくらルーム

〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-4 跡見ギャラリー2階 TEL:03-3944-8151

<http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/index.html>

## 【 ご相談内容 】

跡見学園女子大学 心理教育相談所では、以下のような相談をお受けしています。

### 学校に関する悩み

- 学校にいけない
- いじめにあっている
- 友達とうまく付き合えない
- 学業について困っているなど

### 家庭生活に関すること

- 非行や家庭内での暴力に困っている
- 夫婦・親子・家族関係に悩みがある
- 近所付き合いについて悩んでいる
- 生活環境に問題があるなど

### 職業に関すること

- 仕事が好きない
- 仕事にいけない
- 職場の人間関係で困っている
- 就職・転職について悩んでいるなど

### 育児や障がい児の教育の悩み

- 子育てに困っている
- 障がい児のことで悩んでいる
- 障がい児にどう向き合おうか困っている
- 障がい児をいかに育てるかを知らいたいなど

### 自分自身の性格や健康

- 人と話すのが苦手だ
- 自分の性格について悩んでいる
- 自分の精神的健康に自信がないなど
- 生き方について悩んでいるなど

※このようご相談に対して、カウンセリング、心理療法、心理テストなどを行っています。 ※ご相談内容につきましては秘密厳守いたします。  
※ご相談の内容によってはお引き受けできない場合がございます。

不登校を考える親の会(新座：第1、第3金曜日の午前10時～12時、文京分室：第2、第4木曜日の午後13時～15時)

## 【 受付から相談まで 】

本相談所は完全予約制となっております。 まずはお電話にてお申し込みください。

【予約受付電話番号】 受付時間：午前9時～午後4時

新座キャンパス心理教育相談所 **048-478-2177**

文京分室 ATOMIさくらルーム **03-3944-8151**

初回の相談の予約をお取りし、ご相談の詳しい内容やこれまでの経緯、その他必要と思われることについて、臨床心理士およびカウンセラーが伺わせていただきます。

※電話での相談は受け付けておりません。また、大学の長期休暇等で受付時間を変更する場合があります。

※現在ほかの医療機関や相談機関にかかられている方は、治療担当者にご相談の上、お越しください。

- ・本相談所は臨床心理学専攻の大学院生の研究機関を兼ねています。
- ・大学院生が随席および相談を担当させていただく場合がございます。



面接室

毎年5回程度、教員による心の問題をめぐる「講習会」(無料)を開催[詳細はホームページ]



## 2. 相談活動報告

2014年4月1日から2015年3月末日までの相談としては、初回来所件数48件、延べ来所件数938件、延べ来所人数1027名であった。

来談者の主訴は、子供の学校における問題、引きこもり、親子関係の問題、家族の問題など現代の世相を反映する傾向が認められた。月別来談者数および相談内容は以下のごとく。

表2 月別来談者数

2014年4月～2015年3月末の来談者数

【新座キャンパス相談所】

	来所件数 (件)	延べ件数 (件)	延べ人数 (名)
2014年4月	2	62	68
5月	6	66	71
6月	3	68	77
7月	4	70	73
8月	3	46	52
9月	4	62	67
10月	3	73	75
11月	0	59	65
12月	4	58	66
2015年1月	5	63	70
2月	4	64	71
3月	3	67	75
2014年度合計	41	758	830

【文京分室ATOMIさくらルーム】

	来所件数 (件)	延べ件数 (件)	延べ人数 (名)
2014年4月	1	7	8
5月	1	11	12
6月	0	27	31
7月	1	26	28
8月	0	6	7
9月	1	12	12
10月	0	10	11
11月	2	27	28
12月	0	15	17

2015年1月	0	9	10
2月	0	16	18
3月	1	14	15
2014年度合計	7	180	197

**表3 来談者の相談内容**

2014年4月～2015年3月の来談者の主訴

来談者による主訴の種類	件数
家族の相談	27件
自分自身の問題・性格	33件
抑うつ、情緒不安定	18件
対人関係	9件
不登校	6件
不登校の親の会	9件

### 3. 不登校を考える親の会報告

わが国の小・中学生の不登校は相変わらず10万人を超えている。そのような子どもに対して直接働きかけることは非常に難しく、次善の対応として親へのサポートがある。本相談所でもそれを行うべく、相談活動の一環として「不登校を考える親の会」を月に2回（新座キャンパス：第1、3金曜日の10時～12時、文京分室ATOMIさくらルーム：第2、第4木曜日の午後1時～3時）、開催している。来年度も継続して活動していく予定である。



跡見学園女子大学附属心理教育相談所

#### 「不登校を考える親の会」のご案内

小・中学生の不登校は、相変わらず10万人を超えています。学校に行かない子どもには、ひとりひとりそれなりの事情があります。

学校に行けない、行きしぶる、教室に入れない、朝起きられない、朝になると体調が悪くなる、イライラしている、落ち込んでいる、昼夜逆転している、部屋に引きこもっている、友達とうまくいかない、こんな様子はありませんか。

このような子どもをどう理解すればいいのか、どう向き合えばいいのか、親の会で、みなさまと一緒に話し合い、考えてみませんか。

**\*担当スタッフ**：野島一彦（所長 跡見学園女子大学教授 臨床心理士）  
他 相談所所員

**\*日時・場所**：平成27年4月より平成28年3月まで  
（新座キャンパス心理教育相談所、文京分室ATOMIさくらルームともに開催しています。）

#### 新座キャンパス心理教育相談所

第1・第3金曜日 10:00～12:00（2時間）

<http://www.atomi.ac.jp/daigaku/institution/access.html>

#### 文京分室ATOMIさくらルーム

第2・第4木曜日 13:00～15:00（2時間）

<http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/facility/index.html#bunkyo>

※継続的な参加、単発的な参加どちらでも可能です。

**\*定員**：10名

**\*参加費**（相談料）：1回500円

**\*申し込み方法**：希望日の前日16:00までに、  
下記へお電話でお申し込みください。



#### 申し込み・お問い合わせ

跡見学園女子大学附属心理教育相談所（埼玉県新座市中野1-9-6）

TEL 048-478-2177（相談受付/月～土 9:00～16:00）

ホームページ <http://www.atomi.ac.jp/daigaku/shinri/index.html>

## 4. 講習会報告

多くの方々に本相談所の存在を認知して頂くための活動の一環として平成15年度より開催してきた『講習会～こころを癒す～』を、今年度も開催した。

講習会を広報するとともに本相談所の存在を知ってもらい、心の問題を抱えているにもかかわらず専門機関に相談することをためらっている人に、本相談所を訪れるきっかけを作ることを目的とした。講習会の広報については、公共機関での広報、地域広報誌・ホームページへの掲載により行った。

### 講習会日程と参加人数

今年度は一般対象講習会を新座キャンパスにて全5回、文京分室ATOMIさくらルームにて全3回開催した。開催日時およびテーマについては各講習会講師による講習会の概要報告の項を参照されたい。

講習会の延べ参加人数は新座キャンパス99名、文京分室ATOMIさくらルーム23名であった。受講者の性別、年齢、職業、居住域、講習会を知った媒体については、以下の受講者傾向を参照されたい。併せて受講後アンケートの結果も以下に示してある。

### 受講者の傾向（新座キャンパス）

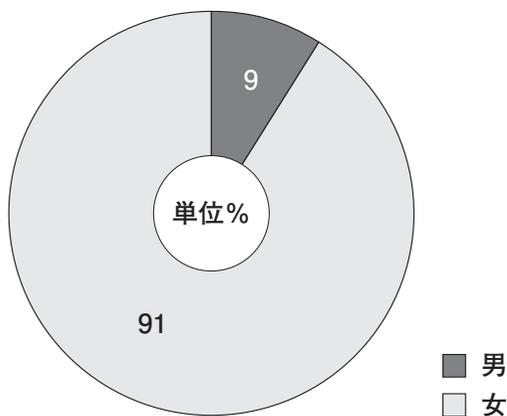


図1 参加者性別構成

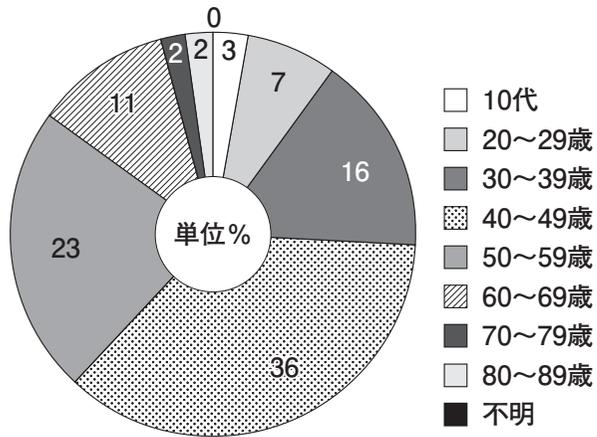


図2 参加者年齢構成

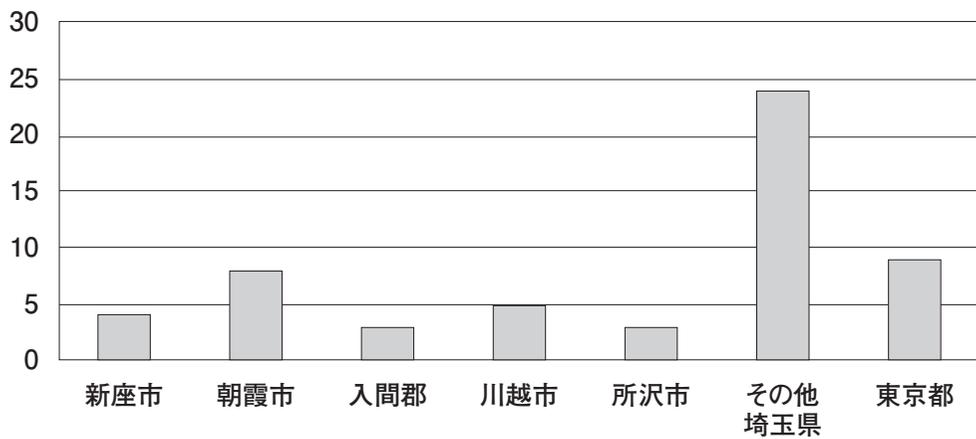


図3 参加者居住地内訳

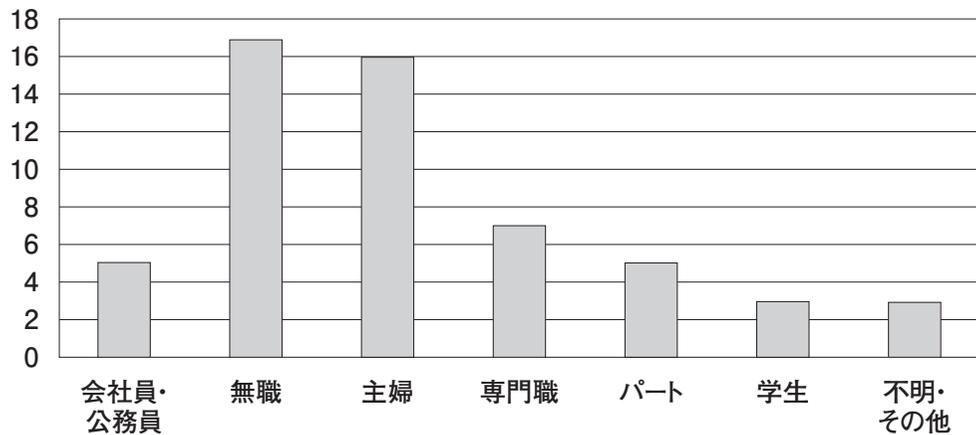


図4 参加者職業内訳

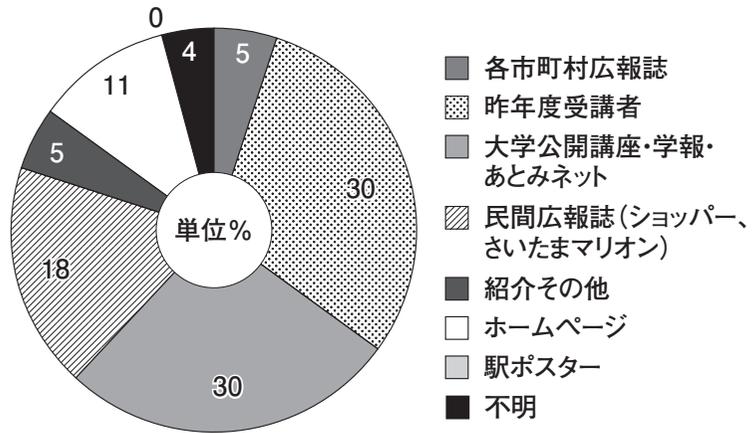


図5 参加者経路内訳

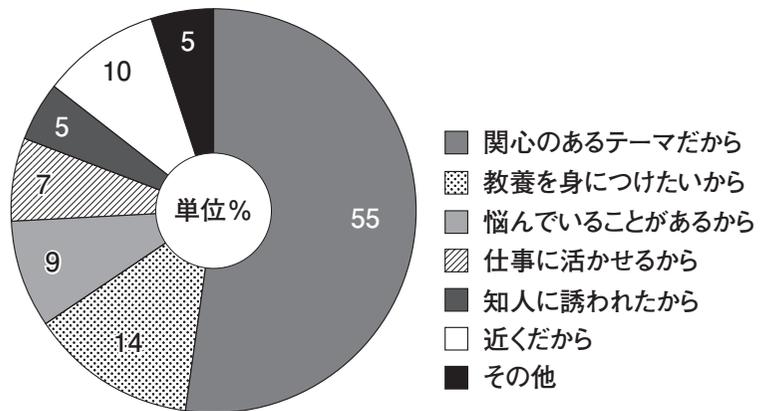


図6 受講した理由

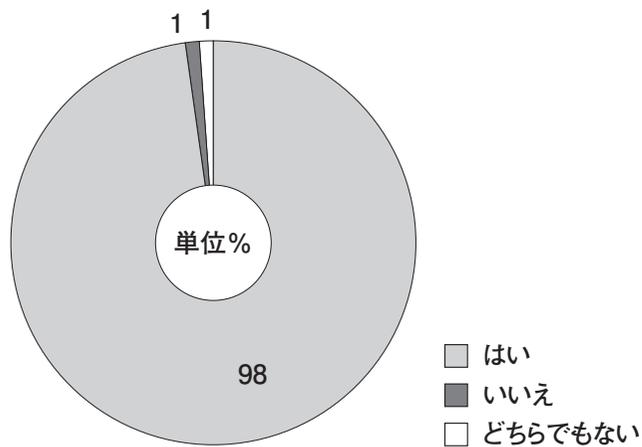


図7 講習会の内容を今後の生活に活かせると思うか

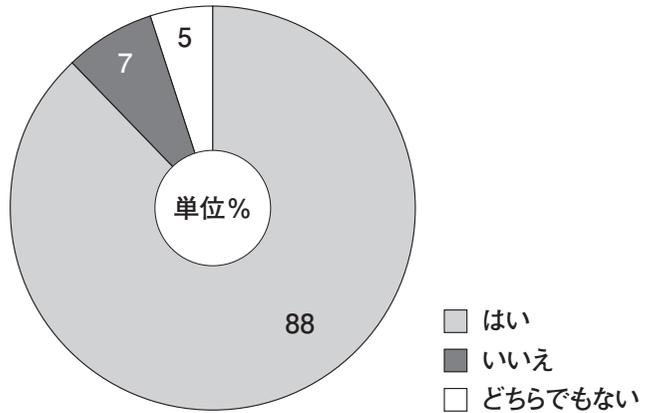


図8 自分自身の悩みや問題を解決する手助けとなったか

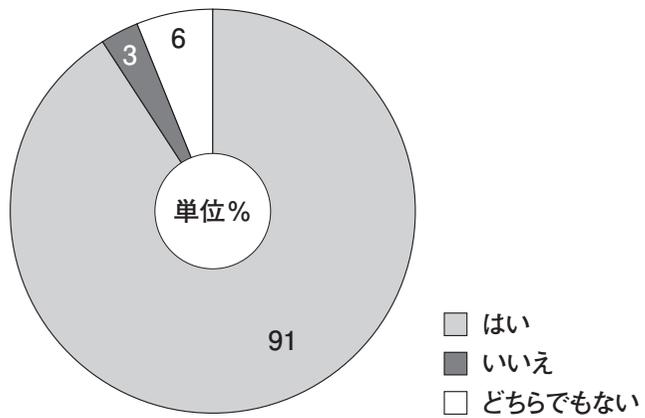


図9 受講内容は期待通りだったか

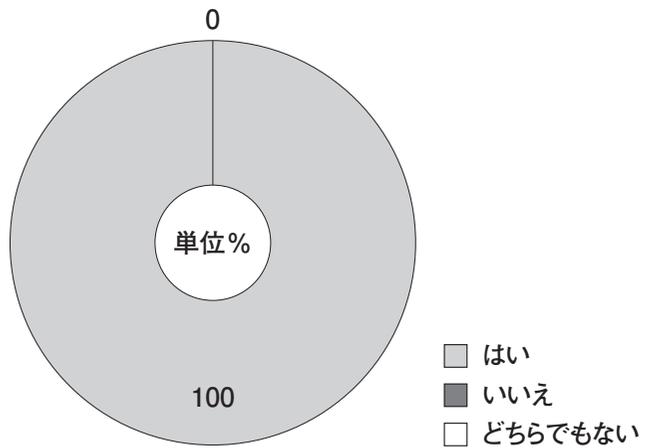


図10 講習会があったらまた参加したいか

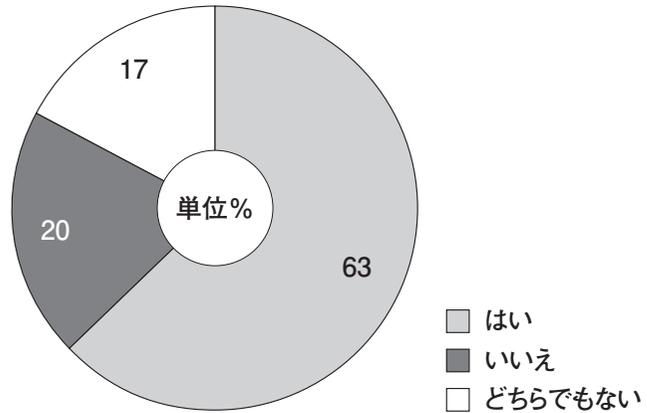


図11 機会があれば当相談所で相談してみようと思うか

受講者の傾向（文京分室さくらルーム）

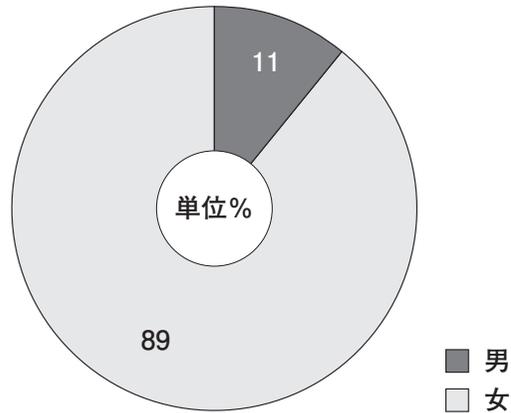


図1 参加者性別構成

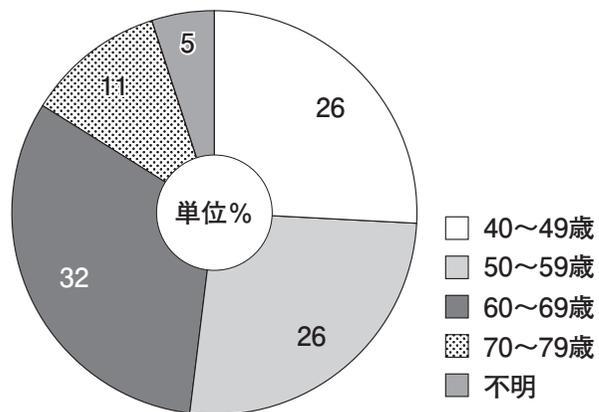


図2 参加者年齢構成

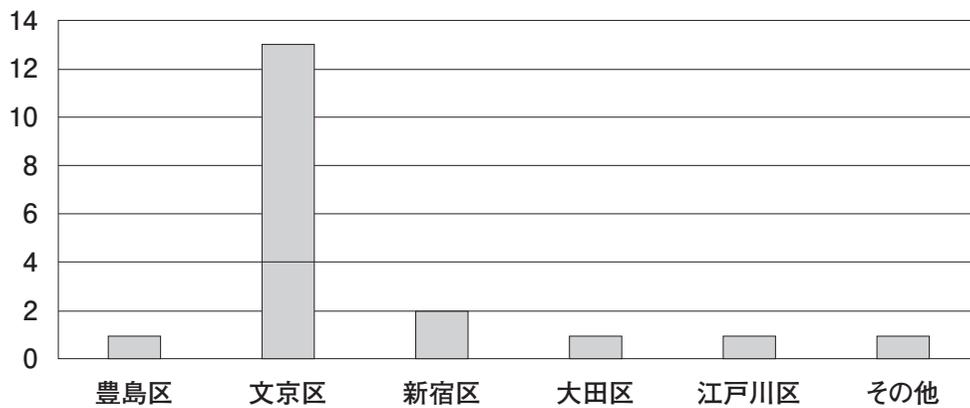


図3 参加者居住地内訳

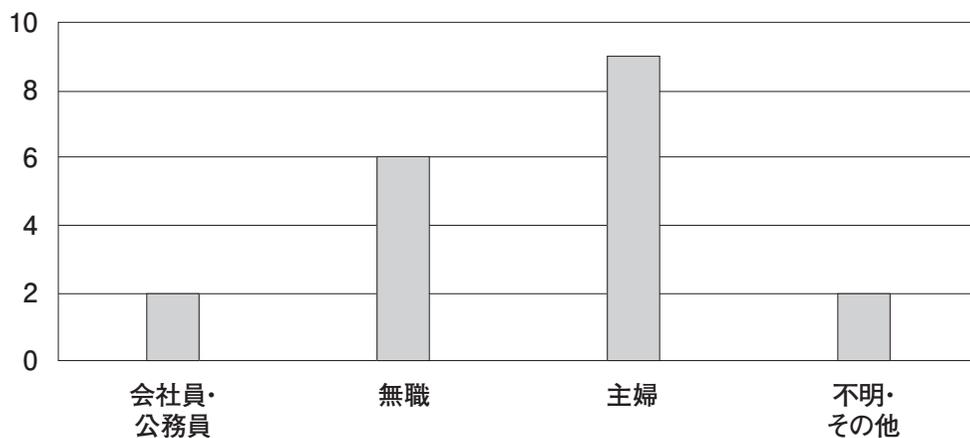


図4 参加者職業内訳

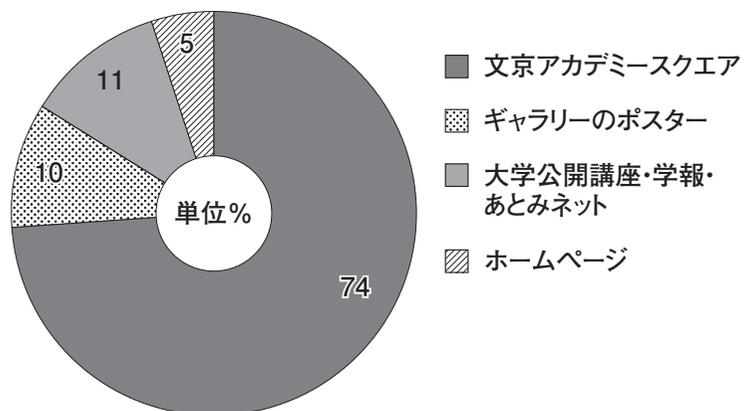


図5 参加者経路内訳

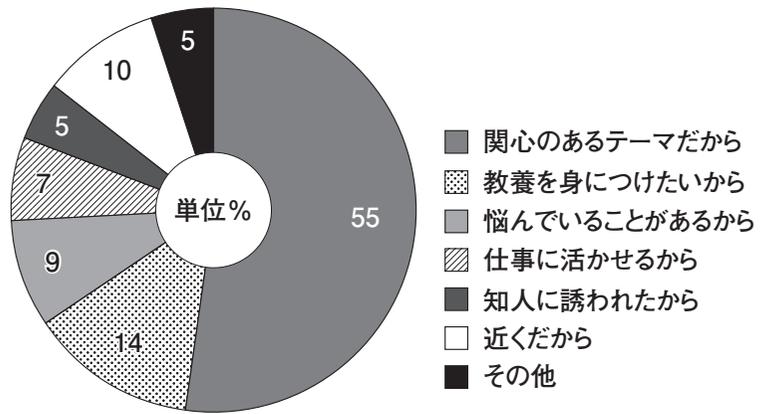


図6 受講した理由

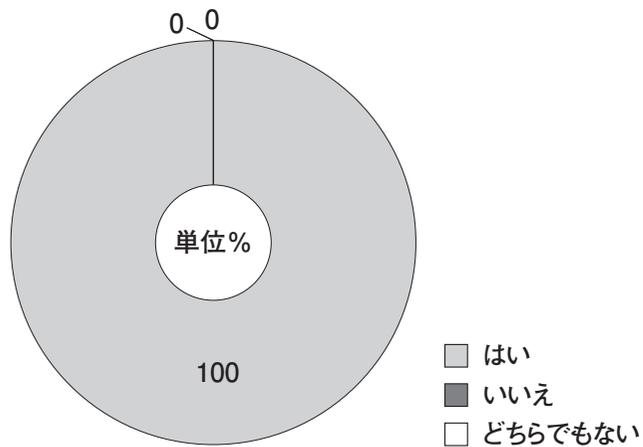


図7 講習会の内容を今後の生活に活かせると思うか

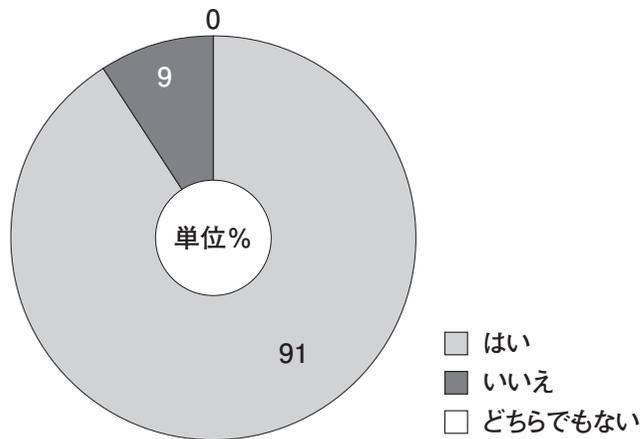


図8 自分自身の悩みや問題を解決する手助けとなったか

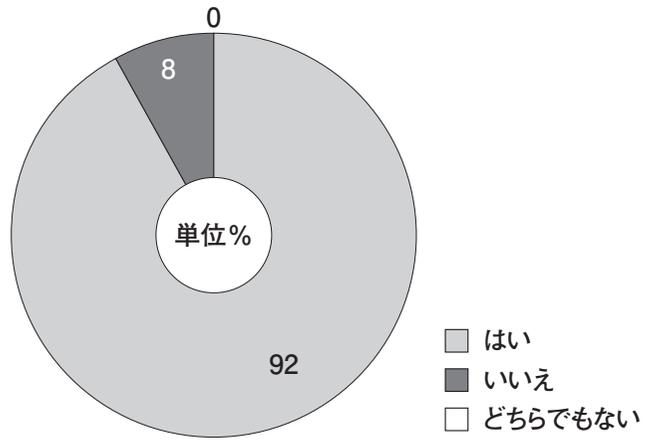


図9 受講内容は期待通りだったか

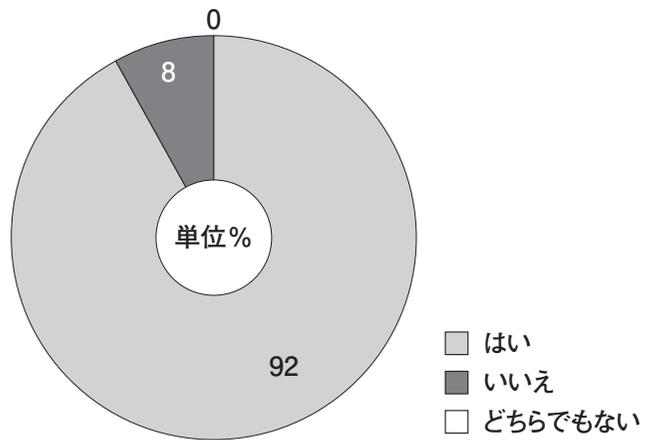


図10 講習会があったらまた参加したいか

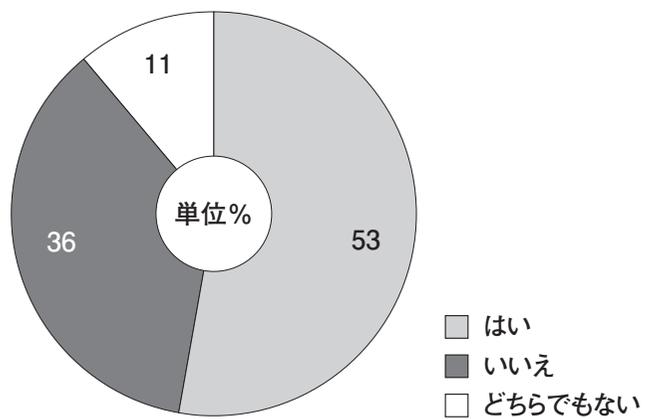


図11 機会があれば当相談所で相談してみようと思うか

## 5. 講習会 概要報告

<1> 7月1日(火)「自己理解～ご自分でご自分を調べてみませんか？

心理テストを用いて～」

宮崎 圭子

交流分析のエゴグラム「新版TEGⅡ 東大式エゴグラム」という心理テストを用いて、自己理解を促進するプログラム内容であった。

参加者人数は38人であった。

まずは、自己理解とはどういう機能を持っているのかをレクチャーした。教材として「ジョハリの窓」、「自己一致」を使いながら、自己理解が進むと下記のような現象が起きることを説明した。

- 抑圧された部分が少なくなる。
- 無意識の部分が自分として理解できるようになる。
- 気付かずにいた能力や才能を発見する。
- 「知る」ということは、「自由」になるということ

その後、実際にTEGに記入し、自己採点してもらい、エゴグラムを作成して頂いた。この心理テスト「TEG」は質問項目数が少なく、調査対象者に多くの負担がかからないという利点を持つ。そのせいか、記入・エゴグラム作成に手こずった参加者も少なく、スムーズに講習会が展開された。

エゴグラムの理論をレクチャーした。主要な3つの心、下位の2つの心、計5つの心についてそれぞれの特徴、機能を説明した。心理テストを実施する場合、テスト結果に一喜一憂する人がいる。それへの対応策として、そもそも性格テスト自体、理想的な性格というものは存在せず、光があれば必ず影の部分があることを複数回繰り返した。そのためか、テスト結果に大きな動揺を見せる参加者はいなかった。

次に、日常生活において、今回のエゴグラムの結果をどのように生かすかを話した。その際、以下の4点を強調した。

- 「理想的な5つの心の状態」というものは存在しない。
- 高い心を下げるよりは、低い心を上げる方が効率的
- スモールステップで!!
- まずは、ちょっとチャレンジしましょう！

最後に、各5つの心を少し上げるには、どのような事を日常生活において心がけるとよいか、以下のアドバイスをレクチャーした。

➤ CPをあげるには

- ・「私は…と思う」とはっきり自分の考えを述べる
- ・「…は好きだ」「…は嫌いだ」をはっきりいう
- ・何か一つ(小さなこと)、最後まで譲らずにがんばってみる

➤ NPをあげるには

- ・相手に対して個人的な関心を示すように努める
- ・世話役などをすすんで引きうけてみる
- ・相手の良い点、好ましい点を見つけてほめる

とても熱心に受講して頂いた。サイコエデュケーショナル・グループの要領で、全体シェアリングを試みたかったが、性格テストでプライバシーへの侵害を配慮し、実施しなかった。今後の課題であろう。

## < 2 > 7月4日(金)「それは本当に雑草なのか」

藤澤 伸介

雑草を見ると、反射的に抜いて捨ててしまう人がいるけれど、雑草であるかどうかは、人間が勝手に決めたものであり、初めから雑草としてこの世に生まれてきたわけではない。

スイカは農水省の定義に従えば野菜だが、東京青果市場の定義に従えば果物である。2006年に「惑星」の定義を変えたために、それ以前は惑星だった冥王星が、それ以降は惑星でなくなってしまった。

このように、人は自分の都合で様々な分類をし、それがあたかもその物の本質だと思いつくことがあるが、「自分の都合で勝手に分けただけ」ということは肝に銘じておく必要がある。

なぜなら、人間は勝手に自分で不必要な悩み事を作り出して苦しむことがあり、大抵の場合は自分にとっての有害な分類をしていることが原因だからである。

偏見や差別も、概念を頭の中で組み立てたあと、抽象化のレベルの混同がおきるからである。抽象のレベルの混同は、ほとんどの場合本人は気づかないし、しばしば長期化する。PTSDもこれが原因である。

我々は、解決の糸口が見つからずに悩むことがよくあるが、そんな時は、ひょっとしたら自分の思い込みに縛られているのではないかと、疑ってみる必要があるだろう。

自分の不幸を嘆く人は、自分から辛かった出来事のみを選び出して、自分の人生を組み立てているだけだ。子の状態になると、助けてくれたり、味方になってくれた人がいても、決して目に入らなくなってしまう。

自分の不幸を嘆くのは、近所迷惑でもある。感情は伝染するし、周囲はその人の御機嫌を取らなければならなくなるから、周りの人からエネルギーを奪うのである。

自分の機嫌は自分で取るべきだし、幸せを見つけるように自分から努力すべきだ。自分が明るくなれば、周囲も明るくなる。そうすることは、社会人の義務でもあるだろう。

## < 3 > 9月18日(木)・2月19日(木)「笑顔で介護・看病」

阿部 洋子

笑顔で介護・看病をすることは、本当に可能なのだろうか。家族による在宅介護・看病であれ、介護職・看護職による施設での介護・看護であれ、病人を介護・看病することは、実践してみると、知識として知り得ている以上に、心身ともに疲労困憊するものである。

また病人といっても、それは認知症、末期癌患者、身体疾患・精神疾患を抱えた方々

と、多種多様である。このように病状は異なるが、介護・看病する側の心の持ち方には共通した思いがあるかもしれない。その一つは、介護者・看護者が病人に対して「病人役割」を期待しているという問題である。病人であれば介護者・看護者の指示に従うべきではないか。従ってくれば、症状は改善されるはずだという思いである。確かに、それは正しい側面があり、善意でもある。しかし患者のツボにはまった支援であるかどうかを忘れてはいないだろうか。現代は、病人は社会経済的動物として外れてしまった人間だと考える、経済優先主義の考え方が蔓延している。それ故、病人は下、介護者・看護者は上、という対応をしてはいないだろうか。こうした人間観をもって臨めば、怖い顔をして叱ることも善なる行為となってしまうのではないだろうか。

ところが脳科学の発展により、叱ったときの怖い顔を見ると、脳の扁桃体が反応し、相手を敵だと認識してしまうということ。逆に褒めて貰った時の笑顔を見ると、脳の線条体が反応し、やる気や意欲が引き起こされることが分かってきた。つまり叱った怖い顔ではなく、笑顔で接することが対人関係にとって、プラスの効果をもたらすのである。また笑顔は作り笑顔でも、心の底から笑った時と同じ効果及ぶことが分かってきた。心理学の有名な理論の一つである「ジェームス・ランゲの法則」、即ち「泣くから悲しい。笑うから楽しい」という法則を脳科学が証明した形になっている。しかもその効果は、笑顔を提供した人の脳にも同様の効果が表れることも分かっている。

しかし笑顔だけで介護・看病はできないのも事実である。泣きたいほど悲しい思いをすることもある。その時は、病人の前で泣くのではなく、他の家族やスタッフの前で泣くことが有効である。涙を流すことは副交感神経が優位になり、リラックス効果をもたらすことが分かっている。笑うことと涙を流すことのバランスを取ることで、笑顔で介護・看病ができる。苦しい時にも思いやりの笑顔が提供できるといえる。

#### < 4 > 9月26日（金）コンセンサス実習～価値観や好悪の感情を共有する～

伊澤 成男

一方通行の講座よりもお互いの交流のある講座を目指した。どの課題にするか迷って、当日にも二つ用意した。方法的には、参加者同士がグループになって価値観や好悪の感情により、個人的な順位をつけた後に、グループとしての順位を、じゃんけんや多数決、平均などではなく、話し合いによってつける課題であるが、内容として、一つは「クルーザーの物語を読んで、好感が持てる順番に1から5の点数をつける」課題（よくある課題です）、もう一つは欠員のできてしまったテニスの団体戦のメンバーとして、選びたい順に1から5の点数をつける課題（オリジナル）。ともに「正解」というものはない。したがって、各個人の価値観や好き嫌いが出てくる課題である。それを、司会者やリーダーを予め決めることなく、お互いに他者の話を十分に聴き、自分の意見もきちんと述べ、グループで十分に話し合っ、制限時間内にコンセンサス（全員の合意）が得られるように進める作業である。結果的には前者（クルーザーの課題）を選んで実施した。

受講者は、20代から60代の男女と幅広い層の方々であった。一人の声が大きいグループ、調整役の方が出たグループ、賑やかなグループ、静かな雰囲気話し合っていたグループと、各グループによって話し合いの様子には大きな違いが見られた。

時間的に90分と短かったので、話し合いの時間が十分に取れなかった点が心残りであったが、受講者からのアンケート回答としては、全員が「今後の日常生活に生かすことができる」と答え、自由記述では「大変面白かった」「久しぶりのディスカッションができて楽しかった」「本当にいろいろと考えさせられた」というようなものの他、「話をもっと聞きたかった」「講義を伺えなかったことが残念だった」というようなものが見られた。2時間あればもう少しいろいろできたかもしれない。

#### < 5 > 10月4日(土)「いじめ問題の対応を考える」

山口 豊一

平成24年度の文部科学省の報告によると、不登校の人数は小学校では21,243人、中学校では91,466人、計112,689人であり、依然高水準である。また、いじめの認知件数は、小学校では117,384人、中学校では63,643人といずれも前年度を上回っており、危機的状況にあると言える。

いじめを理解するには、いじめはどのような構造で起こっているのか理解する必要がある。森田(2006)は、いじめが加害者、被害者、観衆、傍観者の4層の子どもたちから成り立っていることを明らかにした。さらに、森田(2006)は、周りでみている子どもの中より仲裁者が現れ、加害者への抑止力になり得ると説明している。

いじめへの対処は、いじめを発生させない「一次的援助サービス」、早期発見のための「二次的援助サービス」、発生後の対応である「三次的援助サービス」が挙げられる。一次的援助サービスとは、「すべての子ども」に対しての取り組みであり、子ども一人ひとりの成長することを援助するものである。二次的援助サービスとは、配慮を要する「一部の子ども」に対する、問題の早期発見などの予防的援助である。援助の際には、SOSチェックシートを活用すると良い。三次的援助サービスとは、特別な援助ニーズを持つ「特定の子供」に対し、子どもの自助資源や援助資源を活用しながら問題に対処しながら学校生活を送れることを目指す援助サービスである。このように3段階で子どものニーズに合わせた援助サービスを行うことが重要である。

いじめ問題に取り組むには、チームで援助することが重要である。石隈・田村(2003)は、チーム援助とは、「複数の援助者が共通の目的を持って、役割分担しながら子どもの援助にあたること。」と述べている。チーム援助は、情報量を多くし、アセスメントを基盤に方針を立て、一貫した援助サービスをすることで、援助者、援助を受ける子どもの混乱を防ぐことが可能となる。チーム援助のタイプには、コア援助チーム(保護者、担任、コーディネーター)、拡大援助チーム(学校・学年全体)、ネットワーク型援助チーム(他機関、地域等の学校コミュニティ全体)がある。子どもの状況を把握し、信頼関係を築きながら、それぞれの援助者の持ち味(自助資源)を生かすことが求められる。

## 6. OB・OGカンファレンス報告

臨床心理学専攻の修了生（1～8期生：95名）の〈院修了後教育〉として、心理臨床家としての資質向上のために、月に2回（火曜、土曜）、文京キャンパスで「OB・OGカンファレンス」を実施している。以下が今年度の参加状況である。

### 2014年度 OB・OGカンファレンス報告

跡見学園女子大学人文科学研究科臨床心理学専攻（平成25年度までの修了生=95名）

回	日程	OB・OG参加者数	教員参加者数	院生参加者数	総数
1	4月19日（土）	9	3	11	23+（8）
2	4月22日（火）	5	1	11	17
3	5月10日（土）	6	1	7	14+（1）
4	5月27日（土）	6	1	8	15
5	6月14日（土）	5	2	4	11
6	6月24日（火）	2	1	8	11
7	7月5日（土）	6	2	6	14
8	7月22日（火）	4	1	6	11
9	10月4日（土）	2	1	4	7
10	10月21日（火）	3	2	10	15
11	11月8日（土）	3	1	3	7
12	11月18日（火）	3	2	5	10
13	12月13日（土）	2	2	3	7+（1）
14	12月16日（火）	2	1	5	8
15	1月20日（火）	2	1	4	7
16	1月24日（土）	2	2	4	8+（2）
17	2月17日（火）	2	1	4	7
18	3月14日（土）	1	1	2	4+（1）
19	3月17日（火）	2	5	1	8
	2014年度合計 （のべ数）	67	31	106	204(13)

## 7. 委員会報告

平成26年度の委員会開催は、以下の通りであった。

### 第1回 心理教育相談所委員会

日 時：平成26年6月4日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：山澤成康、野島一彦、松寄くみ子、宮岡佳子、山口豊一

- 内 容：1. 平成25年度心理教育相談所活動報告  
2. 平成25年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告  
3. 平成26年度心理教育相談所活動報告（4・5月期）  
4. 平成26年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4・5月期）  
5. 平成26年度心理教育相談所広報活動計画  
6. 平成26年度心理教育相談所講習会日程  
7. 文京分室ATOMIさくらルームの活動について【シニアカフェ】

### 第2回 心理教育相談所委員会

日 時：平成26年10月29日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：山澤成康、野島一彦、松寄くみ子、宮岡佳子、山口豊一

- 内 容：1. 平成26年度心理教育相談所活動報告（4～9月期）  
2. 平成26年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4～9月期）  
3. 平成26年度心理教育相談所講習会実施報告  
4. 平成26年度心理教育相談所紀要について  
5. 心理教育相談所相談員・補助相談員の任命に関する件  
6. 文京分室ATOMIさくらルームの活動について【シニアカフェ】

### 第3回 心理教育相談所委員会

日 時：平成27年2月18日（水） 10：30～12：00

場 所：2号館2571会議室

出席者：山澤成康、野島一彦、松寄くみ子、宮岡佳子、山口豊一

- 内 容：1. 平成26年度心理教育相談所活動報告（4～1月期）  
2. 平成26年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4～1月期）  
3. 平成27年度心理教育相談所開所日程について  
4. 平成27年度心理教育相談所予算申請について  
5. 心理教育相談所相談員・補助相談員の任命に関する件

6. 平成27年度心理教育相談所インターン合否判定

## 8. 担当者会議報告

平成26年度の心理教育相談所担当者会議開催は、以下の通りであった。

### 第1回 心理教育相談所担当者会議

日時：平成26年4月9日（水） 12：20～12：50

場所：2号館2571会議室

出席者：野島、伊澤、中野、藤澤、松嵩、宮岡、山口、阿部、宮崎

- 内容：1. 平成25年度心理教育相談所活動報告  
2. 平成25年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告  
3. 不登校を考える親の会報告  
新座：4.4 = 1名、/文京：3.13 = 2名、3.27 = 2名  
4. 平成25年度OB・OGカンファレンス報告  
5. スーパービジョン研修会報告  
3.29 = 修了生5名、教員1名  
6. 心理教育相談所補助相談員の任命に関する件  
7. 平成26年度真意教育相談所講演会について  
8. 文京分室ATOMIさくらルーム「シニアカフェ」開催について  
9. 平成26年度心理教育相談所担当者一覧について

### 第2回 心理教育相談所担当者会議

日時：平成26年5月14日（水） 12：20～12：50

場所：2号館2571会議室

出席者：野島、伊澤、中野、藤澤、松嵩、宮岡、山口、阿部、宮崎

- 内容：1. 平成26年度心理教育相談所活動報告（4月期）  
2. 平成26年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4月期）  
3. 不登校を考える親の会報告  
新座：4.18 = 1名、5.2 = 1名/文京：4.10 = 2名、4.24 = 2名、5.8 = 1名  
4. 平成26年度OB・OGカンファレンス報告  
5. スーパービジョン研修会報告  
4.12 = 修了生4名、教員2名  
6. 元教員の件

### 第3回 心理教育相談所担当者会議

日時：平成26年6月11日（水） 12：20～12：50

場所：2号館2571会議室

出席者：野島、伊澤、中野、藤澤、松壽、宮岡、山口、阿部、宮崎

- 内容：1. 平成26年度心理教育相談所活動報告（5月期）  
2. 平成26年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（5月期）  
3. 不登校を考える親の会報告  
新座：5.2=1名、5.16=1名/文京：5.8=1名、5.22=2名  
4. 平成26年度OB・OGカンファレンス報告

### 第4回 心理教育相談所担当者会議

日時：平成26年7月9日（水） 12：20～12：50

場所：2号館2571会議室

出席者：野島、伊澤、中野、藤澤、松壽、阿部、宮崎

- 内容：1. 平成26年度心理教育相談所活動報告（6月期）  
2. 平成26年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（6月期）  
3. 不登校を考える親の会報告  
新座：6.6=1名、6.20=1名/文京：6.12=2名、6.26=2名  
4. 平成26年度OB・OGカンファレンス報告  
5. スーパービジョン研修会報告  
6.28=7名  
6. 日本心理臨床学会大会時の相談所の対応について  
7. 8月・9月の相談所担当者（案）について

### 第5回 心理教育相談所担当者会議

日時：平成26年9月10日（水） 12：20～12：50

場所：2号館2571会議室

出席者：野島、伊澤、中野、藤澤、松壽、宮岡、山口、阿部

- 内容：1. 平成26年度心理教育相談所活動報告（7・8月期）  
2. 平成26年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（7・8月期）  
3. 不登校を考える親の会報告  
新座：7.4=1名、8.1=2名/文京：7.10=2名、7.24=1名、8.28=2名  
4. 平成26年度OB・OGカンファレンス報告  
5. スーパービジョン研修会報告  
7.19=4名  
6. 三大学院合同事例検討会について

7. 文京分室ATOMIさくらルーム「シニアカフェ」開催について
8. その他
9. 心理教育相談所紀要第11号への投稿について
10. 心理教育相談所の録画システムについて
11. 心理教育相談所の心理テストについて
12. 第6回国際ウィメンズメンタルヘルス学会主催市民公開講座について  
(大学・文京区への後援依頼について)

## 第6回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成26年10月8日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、藤澤、松寄、山口、阿部、宮崎、酒井

- 内 容：
1. 平成26年度心理教育相談所活動報告（9月期）
  2. 平成26年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（9月期）
  3. 平成26年度心理教育相談所講習会（新座）報告
  4. 心理教育相談所紀要第11号について（投稿申し込み状況）
  5. 心理教育相談所相談員・補助相談員の任期について  
※10/1（水）大学評議会にて承認済
  6. 不登校を考える親の会報告  
新座：9.5＝2名、9.19＝1名/文京：9.11＝1名、9.25＝3名
  7. 平成26年度OB・OGカンファレンス報告  
9月期は三大学院合同事例検討会があったため実施せず
  8. スーパービジョン研修会報告  
9.13＝8名
  9. 三大学院合同事例検討会報告  
9.21に文京キャンパスで開催、約100名参加  
次年度から、文教大、立教大は撤退
  10. ひきこもりサポーターズ情報交換会報告  
第4回会合はお茶の水女子大で開催、野島、宮崎、戸田が参加
  11. 院生によるSDカード紛失  
9.29に紛失、9.30に見つかる。予防策：運搬用ボックス
  12. シニアプラザ事業について（新聞掲載記事紹介）
  13. 平成26年度心理教育相談所講習会（文京）予定
  14. 次年度以降の三大学院合同事例検討会について

### 第7回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成26年11月12日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、中野、藤澤、松寄、宮岡、山口、酒井

- 内 容：1. 平成26年度心理教育相談所活動報告（10月期）  
2. 平成26年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（10月期）  
3. 不登校を考える親の会報告  
新座：10.3 = 1名、10.17 = 1名/文京：10.9 = 2名、10.23 = 1名  
4. 平成26年度OB・OGカンファレンス報告  
5. スーパービジョン研修会報告  
11.1 = 4名  
6. 平成26年度文京分室ATOMIさくらルーム一般向け講習会の実施について  
7. 台風による休講（10.14）の対応について

### 第8回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成26年12月10日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、伊澤、中野、藤澤、松寄、宮岡、阿部、酒井、宮崎

- 内 容：1. 平成26年度心理教育相談所活動報告（11月期）  
2. 平成26年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（11月期）  
3. 不登校を考える親の会報告  
新座：11.7 = 1名/文京：11.13 = 4名、11.27 = 1名  
4. 平成26年度OB・OGカンファレンス報告  
5. スーパービジョン研修会報告  
11.1 = 4名  
6. 11.22シニアカフェ実施報告 = 参加者13名  
7. 平成27年度心理教育相談所インターン選考基本方針・実施要項（案）  
\*書類審査委員、面接審査委員の選出  
8. 文京分室ATOMIさくらルーム「子育てセミナー&語り場」について

### 第9回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成27年1月14日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、伊澤、中野、藤澤、松寄、宮岡、山口、阿部、酒井、宮崎

- 内 容：1. 平成26年度心理教育相談所活動報告（12月期）  
2. 平成26年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（12月期）

3. 不登校を考える親の会報告  
新座：12.5 = 1名、12.19 = 1名/文京：12.11 = 3名、12.25 = 2名
4. 平成26年度OB・OGカンファレンス報告
5. スーパービジョン研修会報告  
12.20 = 3名 + 1名
6. 2月期・3月期心理教育相談所担当一覧（案）について
7. 臨床心理学専攻10周年について

#### 第10回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成27年2月4日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、伊澤、中野、藤澤、松寄、宮岡、山口、酒井、宮崎

- 内 容：
1. 平成26年度心理教育相談所活動報告（1月期）
  2. 平成26年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（1月期）
  3. 不登校を考える親の会報告  
新座：1.16 = 2名/文京：1.22 = 2名
  4. 平成26年度OB・OGカンファレンス報告
  5. スーパービジョン研修会報告  
当月は開催なし
  6. 文京区ひきこもり等支援者情報交換会  
第4回が文京区役所で開催、野島、宮崎が参加、資源マップの作成等協議
  7. 相談所紀要への1期生の近況報告原稿の提出状況
  8. 平成27年度心理教育相談所開所日程（案）
  9. 心理教育相談所相談員・補助相談員の任期について
  10. 平成27年度心理教育相談所講習会について（案）
  11. 国際ウィメンズメンタルヘルス学会 市民公開講座について

#### 第11回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成27年3月5日（木） 12：20～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：野島、伊澤、中野、藤澤、松寄、宮岡、山口、酒井

- 内 容：
1. 平成26年度心理教育相談所活動報告（2月期）
  2. 平成26年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（2月期）
  3. 不登校を考える親の会報告  
新座：2月は実施せず/文京：2.12 = 3名、2.26 = 3名
  4. 平成26年度OG・OBカンファレンス報告

5. スーパービジョン研修会報告  
2.14 = 5名
6. ATOMI さくらルーム講習会実施の報告
7. 平成27年度心理教育相談所インターン選考結果報告  
新規 = 8名、継続 = 2名 合計10名が来年度インターンとして登録
8. 平成27年度心理教育相談所インテーカー選考結果報告
9. 平成27年度の事務体制について
10. その他